

令和4年度
調布市武者小路実篤記念館事業計画
(案)

指定管理者
一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

1 方針

武者小路実篤記念館（以下「実篤記念館」という。）は、武者小路実篤（以下「実篤」という。）の業績を顕彰し、広く市民の教養・文化向上に寄与するため、次の事業目標のもと、調布市教育プラン及び調布市社会教育計画に沿って事業を展開します。

（１）武者小路実篤の顕彰

年６回の展示事業と移動展、普及活動、実篤及び周辺資料の積極的な収集、整理、保存及び調査研究を継続的に実施します。

（２）実篤記念館のブランド化（日本で唯一の実篤研究の情報発信基地）

武者小路実篤の顕彰をベースに、「情報収集発信基地」として機能を充実させ、内外に情報発信できる日本で唯一の「実篤・白樺派・新しき村の研究施設」を目指します。

（３）次代を担う子どもへのアプローチと利用の拡大（博学連携事業）

学校教育において活用しやすいメニューや教材の開発と提供など、子どもたちへの積極的な働きかけにより、未来の来館者の育成と人間愛・郷土愛を育む取組を実施します。

（４）実篤記念館と実篤公園を活用した事業展開

実篤記念館及び実篤公園について、より効率的で柔軟な運営体制の構築を目指し、実篤公園を活用した新たな事業展開など、更なる市民サービスの向上を図ります。

（５）館の外へとつながる事業

実篤記念館から外に出て、武者小路実篤の活動や魅力を伝えて参ります。地域や大学、近隣市の関係施設との協力事業、展覧会や講座等の開催協力など積極的に取り組みます。

また、独自ツイッターを始めとした情報を発信するなど、認知度を高め、多くの人とつながる事業を展開します。

○ 展示活動

春の特別展では実篤が自分の代表作とする戯曲「人間萬歳」を中心に文学作品を掘り下げ、秋の特別展では武者小路家ご遺族から寄贈・寄託を受けた資料や今もお手元で愛蔵されている美術品などを特集します。また、所蔵品を中心とした企画展４回と移動展を開催し、実篤の幅広い活動を紹介するために、テーマを設けて、様々な収蔵品を展示します。これら展示活動を通して、実篤の活動や魅力、実篤記念館の収集活動の成果を広く周知し、認知度を高めます。

○ 普及活動

講座・講演会、ボランティア活動などを充実させ、満足度の高い良質な事業として参ります。来場が困難な利用者にも学習の機会を提供するため、配信等を活用する環境の整備に努めます。

また、郷土博物館や公民館をはじめ市内施設との事業協力を深めながら広く情報発信し、実篤記念館の魅力を感じてもらえる機会とします。

小・中学校をはじめとする学校教育との連携については、学校で地域ゆかりの文化遺産である実篤と実篤記念館に親しむ機会となる企画や博学連携事業を推進します。

さらに、実篤記念館への来館促進を図るための広報活動をさらに充実します。

○ 資料収集及び保存、並びに調査・研究

書画、原稿、書簡、図書、雑誌、写真及び映像・音声資料などの関連資料を収集するとともに、

良好な状態で保存します。特に貴重な収蔵品については、適切な保存・管理を図るために、資料状態の把握に努めるとともに修復、複製制作を実施します。さらに、「実篤」、「白樺派」、「新しき村」に係る事項についての情報収集発信基地としての役割を担っていくため、調査・研究を行います。

○ 情報提供システム

情報提供システムでは、収蔵品データベース、情報閲覧システム、ホームページ等を活用し、更なる情報の充実と利便性向上を図ります。

2 事業概要

No.	事業名	事業内容
1	展示活動	<ul style="list-style-type: none"> ・特別展：春の特別展「人間萬歳」-実篤と狂言-, 秋の特別展「受け継がれてきたもの」-武者小路家ゆかりの名品-を開催する。 ・夏休み企画「はじめての武者小路実篤」をはじめとして、実篤記念館収蔵品による企画展示を4回開催する。 ・隔年で実施している調布市文化会館たづくり展示室での移動展を開催する。
2	普及活動	<ul style="list-style-type: none"> ・武者小路実篤に親しむことができる講演会等を開催する。 ・講座等については、さらに内容の充実を図り、特色ある生涯学習の機会と良質な事業を提供する。また、来場できない利用者に学習の機会を提供するため、配信等の環境整備に努める。 ・協力ボランティアによる、開架図書整理や環境整備活動などを実施する。 ・学校との連携を図り、博学連携プログラム作りや、出張展示や授業等に積極的に取り組む。教員研修に協力し、また、ICT教育や授業で活用できる情報・教材の整備・作成を推進する。さらに、子ども向け解説シートを各学校図書館へ配布するなど、実篤関連資料や情報の提供を行う。 ・夏休み子ども向け事業、親子参加型事業等キッズプログラムを新たな方法も取り入れて充実させる。 ・郷土博物館や市内施設及び関連美術館・文学館等で事業連携を深め、実篤と実篤記念館の認知度を高める。 ・特別展パンフレットを刊行する。 ・令和4年度の映像作品は、旧実篤邸に親しみ学ぶことができるよう、VR（仮想現実）映像を制作し、ホームページで公開する。
3	閲覧事業	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵図書・資料の閲覧事業を通して、実篤作品に親しむ機会を増やし、利用者の調査・研究活動をサポートする。 ・情報提供システムを活用し、レファレンス業務を充実させて、「実篤」、「白樺派」、「新しき村」に関する情報収集発信基地としての役割を担う。
4	資料収集・管理及び調査・研究	<ul style="list-style-type: none"> ・作品・資料の収集に努めるとともに、収集後は整理を行い、収蔵品を良好な状態で保存する。 ・収蔵品の修復や複製による保存事業を計画的に実施する。 ・作品・資料の保存環境の把握および整備に努める。 ・収蔵品データベースの情報をさらに充実させる。

		<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携，展示・調査研究に係る資料提供の要請等へ対応する。 ・所蔵品の点検，未整理資料の整理作業に積極的に取り組む。 ・旧実篤邸内にある所蔵品の虫害対策のために消毒作業を実施する。 ・特別展に関連する資料をはじめ，個人所蔵の資料など，実篤，白樺派，新しき村に係る資料の調査・研究を実施する。
5	情報提供システムの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵品データベース，情報提供システム，映像視聴システムの更なる情報の充実と利便性向上を図る。 ・計画されているシステムの全面リニューアルに向けて，技術の進歩と情報利用の環境変化を踏まえた改修の方向性と内容を検討する。 ・ホームページ，独自ツイッターの運用を積極的に展開し，情報の発信と認知度の向上に努める。 ・ICT教育で活用できるよう，学習サポートページの充実を推進する。
6	記念館の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・入場者の安全で快適な利用に供するため，保守点検及び調査による施設，設備等の維持および良好な運用と美観を保持することに努める。 ・駅等からの誘導案内サイン等を，利用者に分かりやすく改修する。 ・収蔵品の状態と保存環境の維持に努めるとともに，後世に貴重な財産を残すために，隔年で行っている環境調査を実施する。また，保存環境を確保するために展示室，収蔵庫の温湿度をモニターし，空調の調整に努める。 ・外壁及び屋上防水等改修工事に協力する。 ・水害対策として，止水板改修（3年計画）を実施する。
7	公園日常管理・旧実篤邸保存	<ul style="list-style-type: none"> ・公園利用者にとって快適な施設とするため，日常的な維持管理を行う。 ・登録有形文化財の旧実篤邸を維持管理し，土・日・祝日は公開する。
8	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や地区協議会等と協力して地域連携事業を実施する。 ・市内中学生の職場体験の受入れを行う。 ・博物館学芸員実習の受入れを行う。

3 展示日程

No.	タイトル	会期
1	春の特別展「人間萬歳」-実篤と狂言-	令和4年4月29日(金・祝)～6月5日(日)
2	企画展「画家・河野通勢の表現」	6月11日(土)～7月18日(月・祝)
3	夏休み企画「はじめての武者小路実篤」	7月23日(土)～8月28日(日)
4	秋季展「作家の筆先」-所蔵原稿名品展-	9月3日(土)～10月10日(月・祝)
5	秋の特別展「受け継がれてきたもの」 -武者小路家ゆかりの名品-	10月15日(土)～11月27日(日)
	外壁及び屋上防水等改修工事のため休館	11月29日(火)～令和5年3月3日(金)
6	移動展「人生の旅人に幸あれ」 -実篤の言葉を味わう-	12月8日(木)～1月15日(日) 於：調布市文化会館たづくり1階展示室
7	春季展「思い切って咲くもの萬歳」	3月4日(土)～4月16日(日)

	-花と実篤-	
--	--------	--